

事業計画書



地域の元気推進事業

黒川町元気推進プラン



平成21年3月

黒川町まちづくり運営協議会

目 次

1. プラン策定にあたって	1
1) 地域の元気推進事業	1
2) 黒川町元気推進プランとは	1
3) 元気推進プランの趣旨と構成	1
4) 計画の目標年次	2
2. 黒川町の姿	2
1) 位置・地勢	2
2) 特性	2
3) 人口・世帯数	3
4) 黒川町を特色づけるもの	4
5) 町民アンケートによる住民の意見	8
3. 黒川町のよかところ、課題	13
1) 黒川町のよかところ	13
2) 解決したい黒川町の課題	17
[黒川町の「各種団体調査」]	17
[課題等の整理]	19
[主要な課題]	23
まちづくりのキーワード	
4. 黒川町の将来像	25
1) まちづくりのキーワード	25
2) まちづくりの基本理念	25
5. まちづくり基本計画	26
I. 豊かな自然を活かしてみんなが支え合うまちづくり	27
II. スポーツ振興による健康なまちづくり	28
III. 子どもがいきいき育つまちづくり	28
IV. 高齢者がいきいき暮らせるまちづくり	29
V. 地域や歴史や文化を活かしたまちづくり	30
VI. 安心・安全に暮らせるまちづくり	31
6. 黒川町元気推進プランの実現に向けて	33
1) 推進体制	33
2) これからの進め方	36

黒川町元気推進プラン

1. プラン策定にあたって

1)地域の元気推進事業

少子・高齢化や高度情報化などの急激な社会情勢の変化の中で、私たちのまちづくりの在り方も大きな変革が求められています。

地方分権の流れの中で、国と地方のあり方も見直され、自ら考え実行する自立した自治体となることが求められていて、そのためには、行政体制の見直しはもちろん、市民と行政の関係の変革も求められています。

元気推進事業は、自分たちの地域を見つめ直し、地域の課題を見つけ、地域で出来ることは地域でやっという市民が主体となった地域自治の仕組みをつくり地域の元気を創りあげようとする事業です。

伊万里市は、平成 19 年度から推進していますが、黒川町も平成 20 年度から本事業に取り組んでいくことになりました。

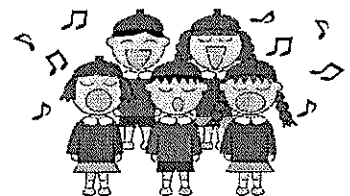
2)黒川町元気推進プランとは

黒川町元気推進プランは、町民に対するアンケート調査や黒川町まちづくり運営協議会などによる地域探索の結果を踏まえ、町民みんなで作った黒川町の将来ビジョンです。

この将来ビジョンは、黒川町の現状と課題を踏まえ、黒川町の将来像を明らかにした上で、その将来像を実現するために、地域づくりの基本計画を整理したものです。

青い海と緑豊かな美しい黒川町、人と人とのつながりを大切にし、これを未来の子どもたちにつなげていこうという思いのこもったプランです。

今後は、このプランに沿って、地域住民の一人でも多くの参加をお願いしながら「元気な黒川町」を目指していきます。



3)元気推進プランの趣旨と構成

黒川町元気推進プランを策定するにあたり、まずは黒川町の現状を把握するために、全世帯を対象としたアンケート調査や黒川町の各種団体の活動内容と課題等の調査を実施しました。アンケート調査では、「黒川町の好きなもの・嫌いなもの」「もっと住みやすくするまちづくり」などについて問いかけて町民が抱えている課題等を掴みました。

その結果をもとに主要課題を導き出し、この課題を解決するために、どんな黒川町をめざすか、どんなことに取り組むのかについて、将来像と地域づくり計画という形で整理しています。

まず、黒川町の将来像については、町民の拠り所となる黒川町のシンボルを明

らかにした上で、地域づくりのキーワードをあげ、それらをもとに地域づくりの基本理念と将来像を整理しています。そして、将来像を実現に導くために基本テーマに基づいた地域づくり計画を掲げています。

最後に、地域づくり基本計画を実施していくための体制として組織した「黒川町まちづくり運営協議会」は、計画に掲げた事業をどのように取り組んでいくべきか等を具体的に述べています。

この将来ビジョンは、黒川町の基本計画（マスタープラン）となるものです。このビジョン実現のため、黒川町民が心をつにし、次世代の子ども達が「黒川町に住んでよかった。」といえるような黒川町づくりを目指します。

なお今後、地域社会を取り巻く環境が大きく変化することも予測されますので、そうした急激な変化に対応するために、このビジョンを見直すことがあります。

4)計画の目標年次

黒川町元気推進プランは、平成 20 年度を初年度として、おおむね平成 29 年度を目標年次とします。 計画の期間＝平成 20 年度から平成 29 年度

2. 黒川町の姿

1) 位置・地勢

黒川町は、伊万里市のほぼ中央部に位置し正方形に近い町域となっている。国道 204 号沿いに波静かな伊万里湾が隣接して集落が成り立つ西部地区。玄海国定公園大平山の中腹にある深山地区。そして県道塩屋・大曲線沿いに形成している東部地区からなっています。

2) 特性

造船業等が立地する七ツ島工業団地を有する県内でも有数の工業地区と、伊万里湾に注ぐ立川及び拝川沿いと松浦川支流の板治川沿にある農地で営まれている水稲や水菜、そして、伊万里ブランドとなっている東部地区のキュウリや立目畜産団地の伊万里牛なども生産されている市内では主要な農業の町でもあります。

昭和 46 年に造成された七ツ島工業団地は、造船、鉄鋼、セメント等の企業が立地し、同団地にある大型岸壁には平成 9 年に国際コンテナ航路が開設され国際貿易の拠点として発展しています。

また、同団地のすぐ北には、平成 3 年に海洋レクリエーション基地のひとつとして建設された人工海水浴場「イマリンビーチ」があり、波静かで風光明媚な海水浴場として市内外から多くの観光客で賑わっています。さらに、このイマリンビーチに隣接して、「健康づくりと楽しさのある交流拠点」づくりを目的として平成 18 年 3 月に完成した都市計画事業「いまり夢みさき公園」があり、この二つの施設を活用して、「西九州伊万里凧上げ大会」や「夢みさきクロスカントリー大会」を黒川町独自で取り組むなど、農業と工業のまちに先進的な町づくりに取り組む活力ある町として発展しています。

3) 人口・世帯数など

黒川町の平成 20 年 9 月末現在の人口は 3,280 人で、世帯数は 1,180 世帯となっていて、過去 10 年間で人口は 340 人減少し、世帯数は 73 世帯増加しています。高齢化率は、10 年前の 21.1%が 24.7%となっていて市全体 (24.3%) とほぼ変わりませんが、高齢化は確実に進んでいて、子どもの数 (19 歳以下 849 名が 622 名) が減少していて下の表からもわかります。

(各年 9 月末現在人口 単位：人)

区分	平成 10 年		平成 20 年		差
総数	3,620		3,280		△360
0～4 歳	172		164		
5～9 歳	190		159		
10～14 歳	243		127		
15～19 歳	244	849	172	622	△227
20～24 歳	244		221		
25～29 歳	226		219		
30～34 歳	156		196		
35～39 歳	207		151		
40～44 歳	232		159		
45～49 歳	293		192		
50～54 歳	239		206		
55～59 歳	199		286		
60～64 歳	231	2,027	218	1,848	△179
65～69 歳	198		175		
70～74 歳	183		202		
75 歳以上	363	744	433	810	66



黒川町の行政区は 19 区で構成されていて、平成 20 年 9 月末現在の世帯数及び人口は下記のとおりです。

(人口：人、世帯：世帯)

区分	福田	浦潟	干潟	大黒川	奥野	塩屋	小黒川	浦分	黒塩	椿原
人口	71	71	61	252	117	359	315	284	91	157
世帯	32	18	15	84	42	128	113	103	41	50

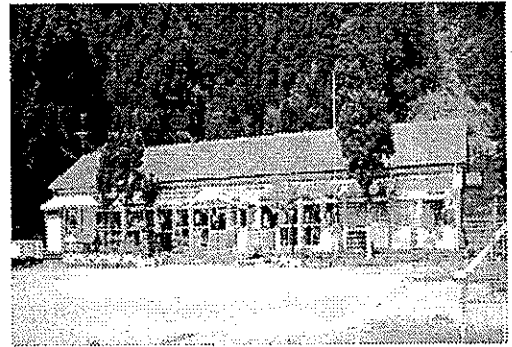
清水	横野	立目	牟田	花房	畑川内	長尾	真手野	名村	敬愛園	計
57	44	74	97	71	261	118	189	534	25	3,280
24	11	18	24	20	66	28	53	285	25	1,180

4) 黒川町を特色づけるもの

ア) 施設



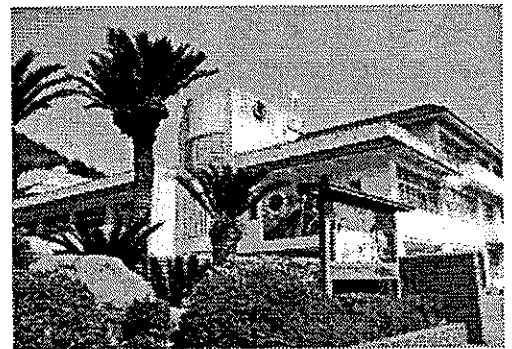
黒川公民館



黒川幼稚園



たんぽぽ保育園



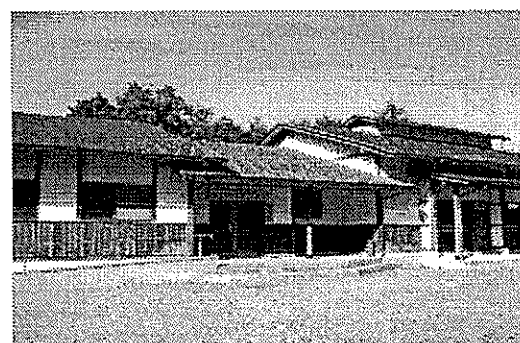
黒川小学校



青嶺中学校



病院

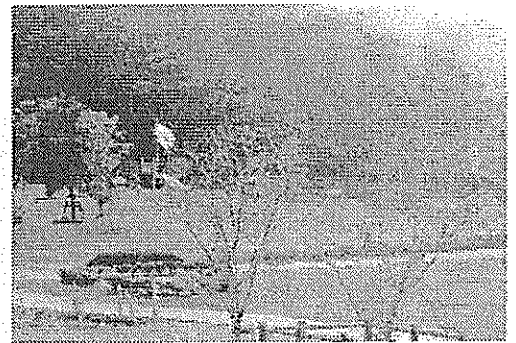


林業研修センター

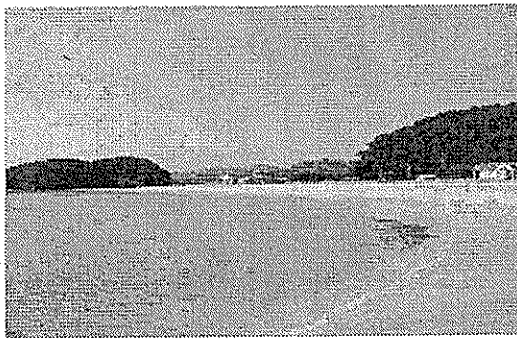
イ) 自然・景観関連



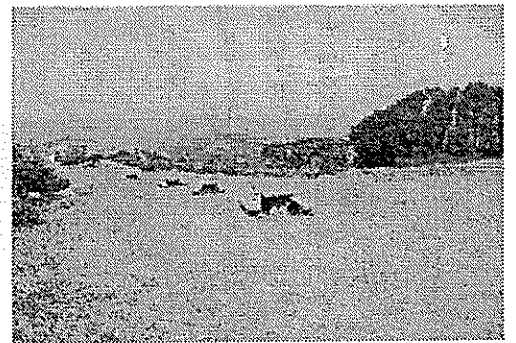
伊万里湾



夢みさき公園



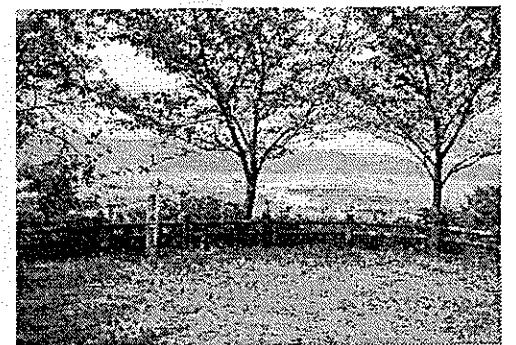
イマリンビーチ



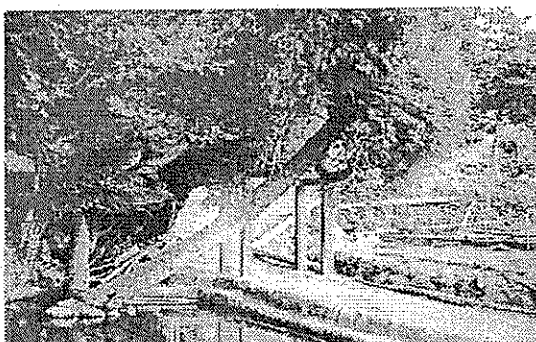
大平山公園



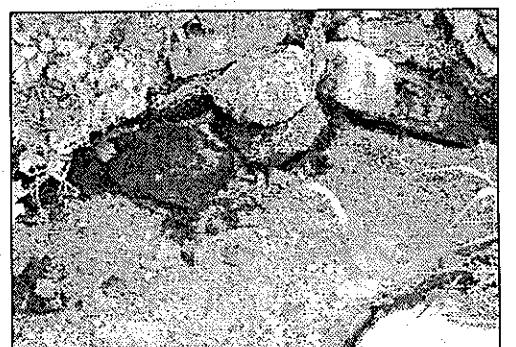
清水の棚田風景



おらびヶ丘

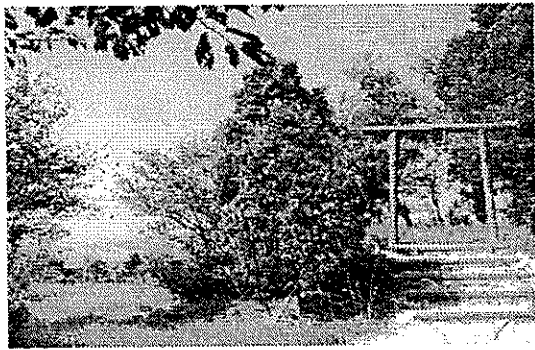


寺の川の清水

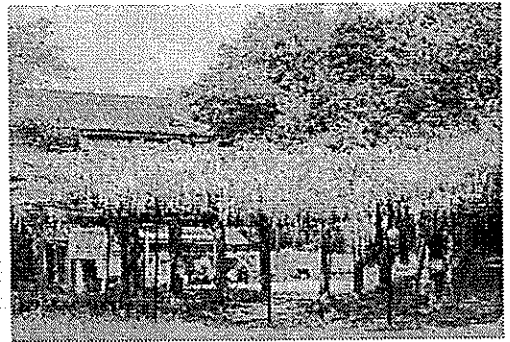


うぐいすの水

ウ)史跡・祭りなど



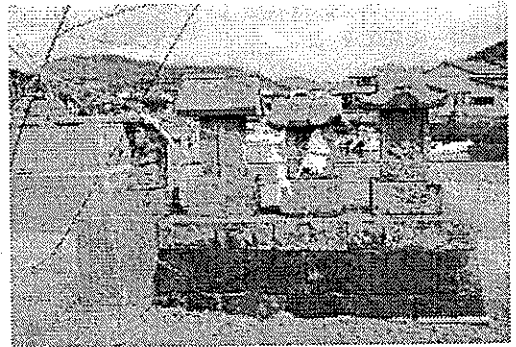
熊野権現(骨蓬岳)



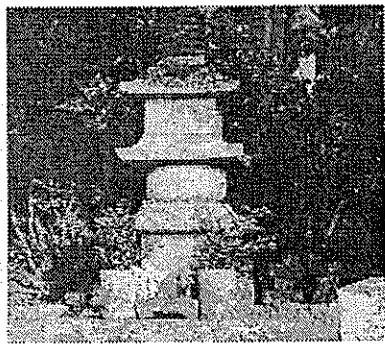
竜宮様の藤



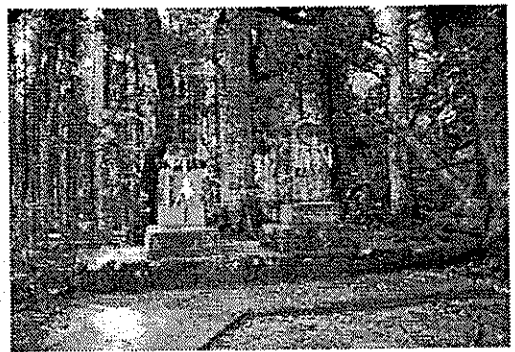
イロハ石



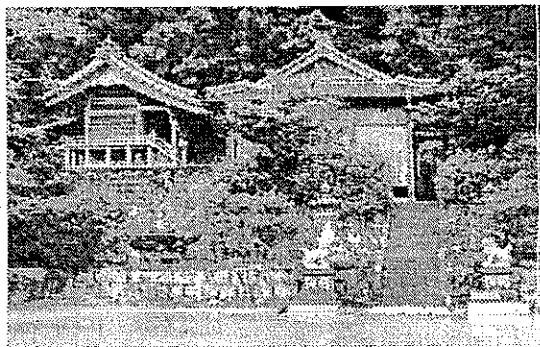
波止端



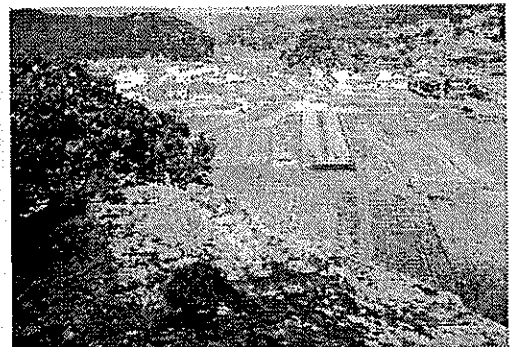
黒川左源太夫



鎮守の森



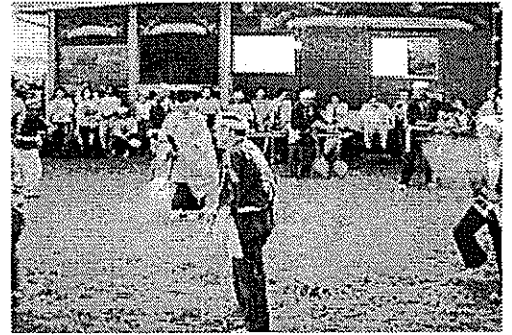
豊穀神社



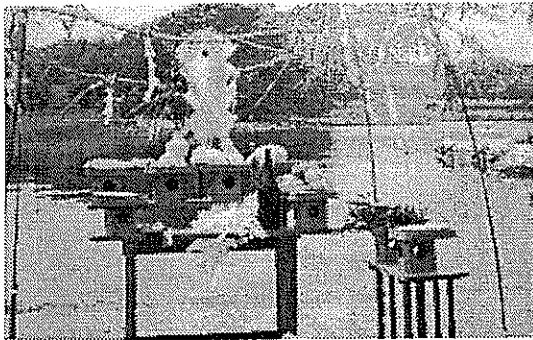
飛太郎岩



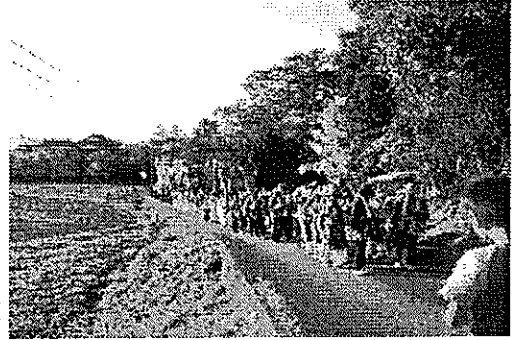
ふるさとまつり



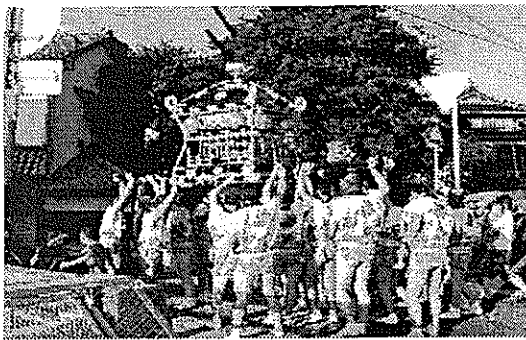
もっこ踊り



浦潟港まつり



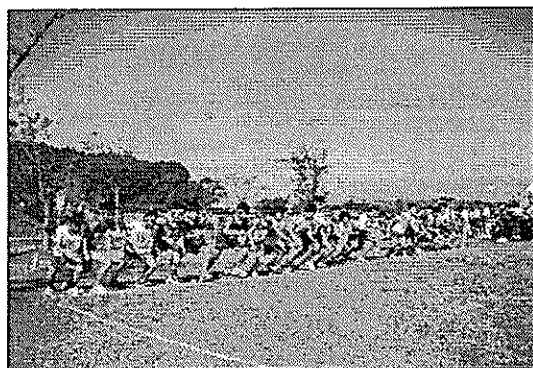
秋まつり



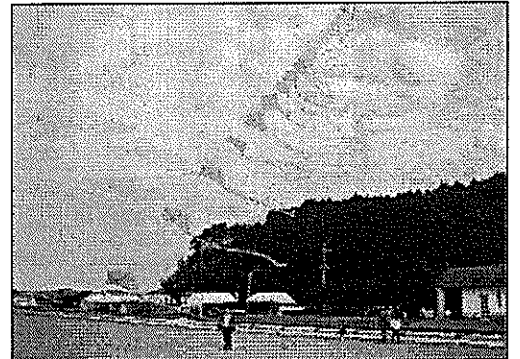
祇園祭



竹灯籠祭り



夢みさきクロスカントリー大会



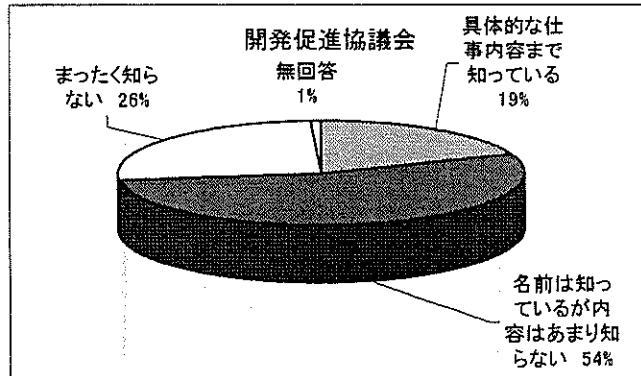
西九州伊万里凧あげ大会

5) 町民アンケート調査による意見

黒川町の現状と課題を把握するために、平成20年10月に全世帯を対象にアンケート調査を実施しました。842世帯のうち563世帯から回答が得られ、回収率は67%でした。以下は、アンケートの中から主要な質問を抽出し、その結果を紹介しています。

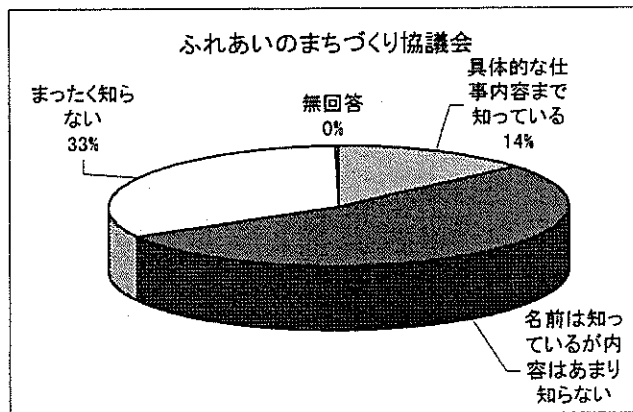
◆黒川町開発促進協議会に対する町民の認知は2割程度で3割近く全く知らない。

男性と女性を見てみると、「具体的に内容まで知っている。」が男性では25%に対し、女性は9%。また、「全く知らない」人が、男性の21%に比べて女性は35%であり、女性の認知度が低い状況がうかがえます。



◆ふれあいのまちづくり推進協議会に対する町民の認知は14%、全く知らない人が33%。

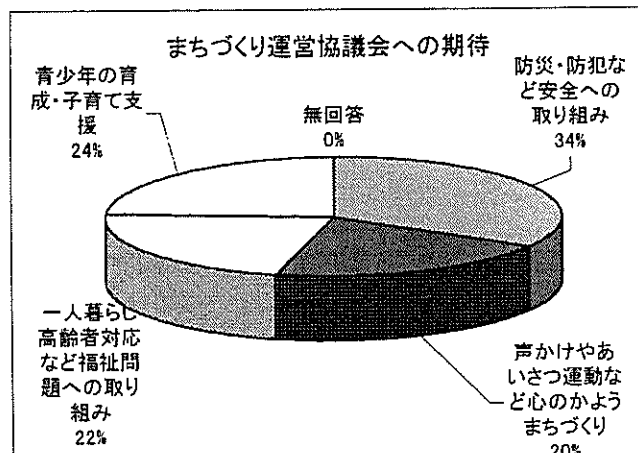
男性と女性の比較では、「具体的に内容まで知っている。」が男性では17%に対し、女性は9%。また、「全く知らない」人が、男性の30%に比べて女性は37%であり、女性の認知度が低くなっています。



◆「黒川町まちづくり運営協議会」で取り組んでもらいたい事業等についてお尋ねしました。

全体でもまた、男女別にみても、1番に「安全への取り組み」、2番目に「青少年の育成・子育て支援」を望む声がありました。

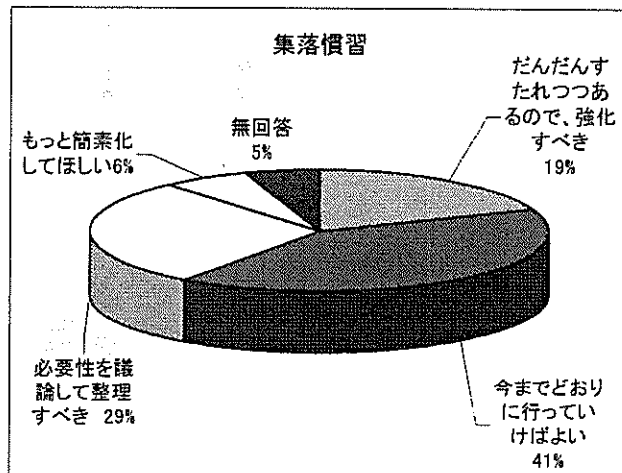
次に、男性では「一人暮らし高齢者対応など福祉問題への取り組み」、「声かけやあいさつ運動など心のかようまちづくり」と続いていたが、女性は男性とは順位が逆になり、「声かけやあいさつ運動など心のかようまちづくり」が3番目になっています。



◆「集落で行なわれている慣習」についてお尋ねしました。

全体では、「今までどおり行なっていけばよい。」が41%。男性も女性も同意見が1番になっています。

次に続くのは、男性・女性とも「必要性を議論して整理すべき。」の順となっています。

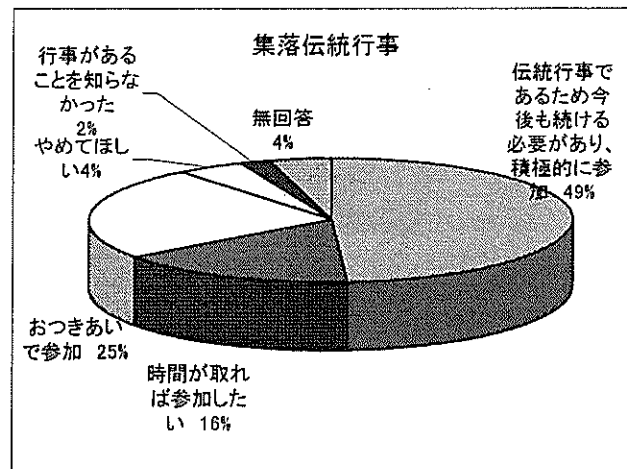


◆「集落で行なわれている祭り」への参加等についてお尋ねしました。

全体では、「伝統行事であるため今後も続ける必要があり、積極的に参加したい。」が1番で約50%でした。

2番目は、男女とも「恒例のお祭りなので、おつきあいで参加している。」

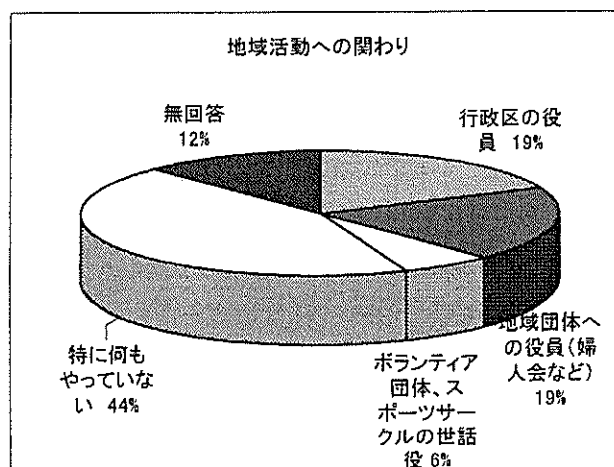
3番目は、男女共に「忙しいので参加していないが、時間が取れば参加したい。」となっています。



◆「地域活動への関わり」についてお尋ねしました。

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 行政区の役員 | 男性=26%、女性=5%、全体=19% |
| 2. 婦人会、老人会など地域団体の役員 | 男性=21%、女性=16%、全体=19% |
| 3. ボランティア団体等の世話役 | 男性=6%、女性=6%、全体=6% |
| 4. 何もしていない | 男性=39%、女性=53%、全体=44% |

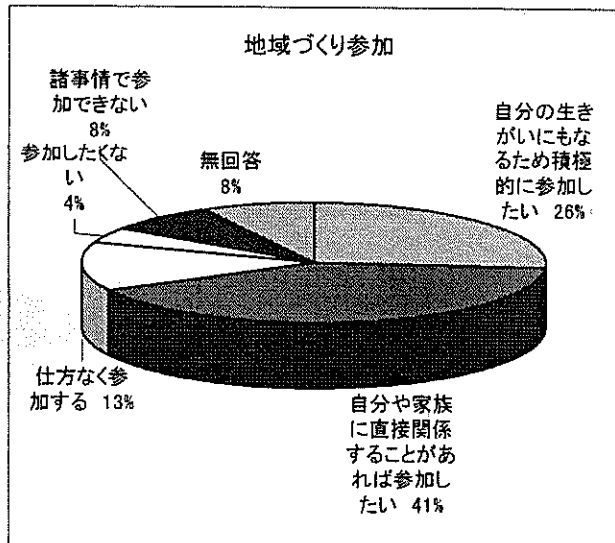
以上となっていて、全体に、男性に比べて女性の関わりが低くなっています。ただ、「何もしていない。」が全体で44%、うち、女性が53%となっています。



◆「地域づくりへの意向」についてお尋ねしました。

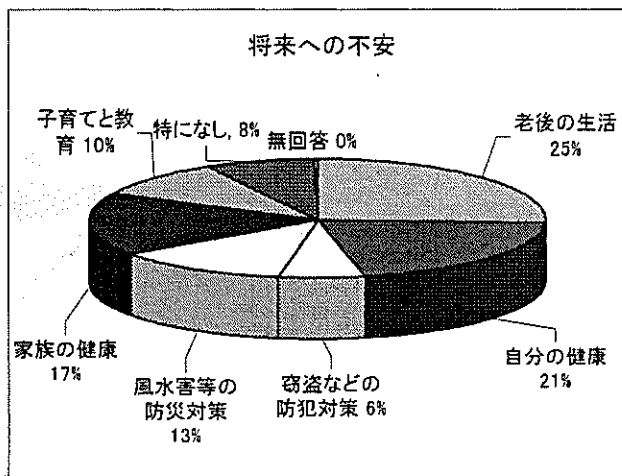
「積極的に参加したい。」「関係することであれば参加したい。」の「参加したい。」との声が、全体で67%であり高いといえます。

「仕方なく参加している。」が13%、「参加したくても諸事情で参加できない。」が8%と続き、「参加したくない。」は4%でした。



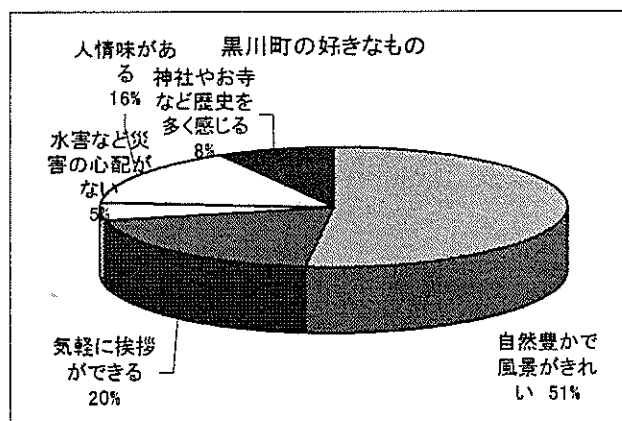
◆「現在・将来に向けて困っていることがありますか。」についてお尋ねしました。

男女共に同様な声が上がっています。1番が「老後の生活」、2番が「自分の健康」、3番が「家族の健康」、4番が「風水害等の防災対策」と続いていて、5番目に、男性とは異なり女性は「子育てと教育」を上げてあります。



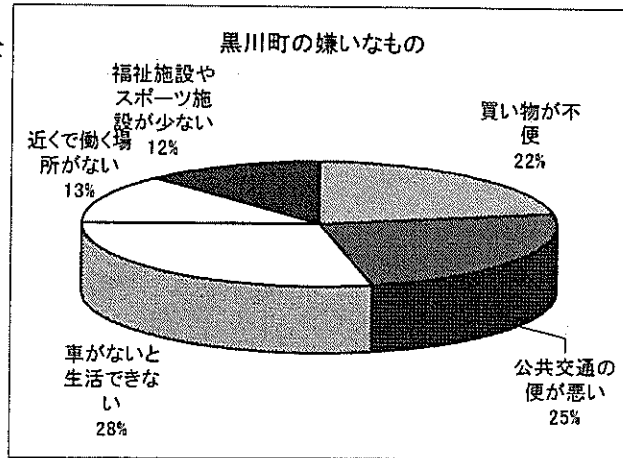
◆「黒川町で好きなもの」についてお尋ねしました。

男女ともに、1番は「自然が豊かで風景がきれい。」で、2番目に男性は「人情味がある。」でしたが、女性は「気軽に挨拶ができる。」でした。



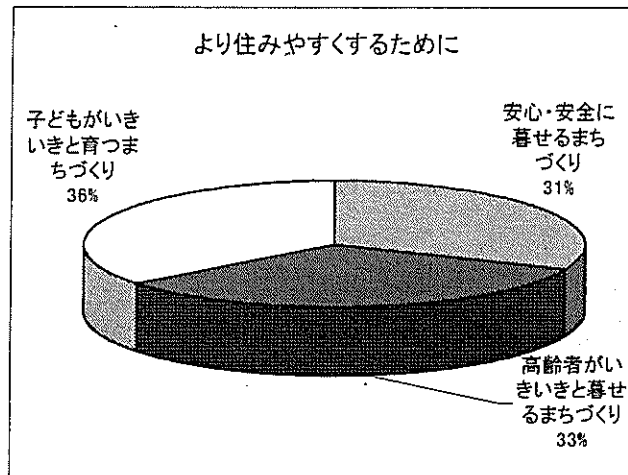
◆「黒川町で好きなもの」についてお尋ねしました。

男性、女性ともに同様な意見となっています。1番＝「車がないと生活できない。」、2番＝「公共交通の便が悪い。」、3番＝「買い物が不便」、4番＝「近くで働く場所がない。」、5番＝「福祉施設やスポーツ施設がない。」の順になっています。



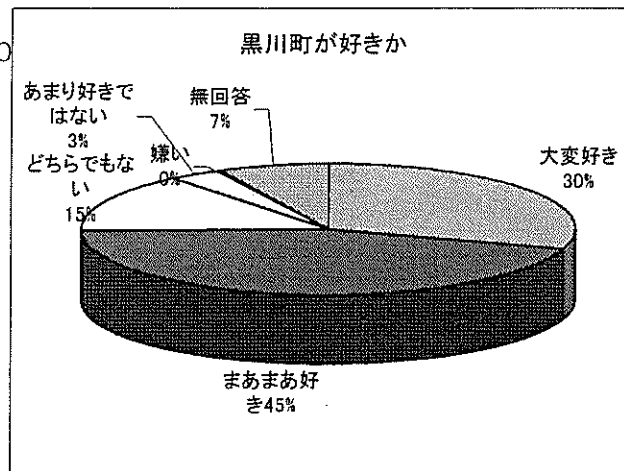
◆「黒川町をもっと住みやすくするために何が必要ですか。」とお尋ねしました。

男女ともにほとんど同回答でした。全体では、
 「子どもがいきいきと育つような環境づくり」 = 36%
 「高齢者がいきいきと暮らせるような環境づくり」 = 33%
 「不審者や交通安全対策など安心・安全に暮らせるまちづくり」 = 31%
 の順になっていて、「子どもの教育環境」が一番高い結果となっています。



◆「黒川町が好きですか」とお尋ねしました。

全体で、
 「まあまあ好き」が45%、「大好き」が30%と、「好き」と思っている町民は75%になっています。



※ 以上の質問項目と併せて、次のような「その他の意見」がありました。

＜道路整備、交通安全関連＞

- ・朝夕の交通渋滞の解消を。
- ・大型車が多く通学が危険、ラッシュ時の迂回路も危険。
- ・大黒川入口(工業団地交差点)の道路拡張。
- ・街灯が少ない。
- ・学校が遠い。

＜福祉関連＞

- ・車がないと生活できないので運転ができなくなった時、大変と心配している。
- ・主人が運転できなくなると病院に行けなくなる。

＜公園やスポーツ施設整備関連＞

- ・玄海国定公園(大平山)を町全体で管理する。特に、杉の木などを手入れして、コスモスを植栽して魅力ある公園に。
- ・雨の日でも出かけられるスポーツ施設を。
- ・安くて習い事(ペン習字、子どもサッカーなど)ができる所を。

＜集落行事や祭り関連＞

- ・行事や会議が多すぎる。
- ・集落の祭りのPRを。
- ・若者が少なくなって、集落での祭り等ができなくなっている。

＜新たな取り組みとして＞

- ・公民館でパンや菓子づくり教室の開催を。
- ・食育の推進を。

＜生活習慣関連＞

- ・挨拶をしなくなった。
- ・個人主義が多い、もっと話し合えるように。
- ・よそ者扱いにされる。
- ・経済的ゆとりや譲り合いの心得を。

＜より住みやすいまちづくりのために＞

- ・清掃や美化活動に取り組み美しい町づくりを。
- ・いまりんバスを深山地区に。
- ・人々の素直で豊かな心、他人に惑わされない強い心、本当の挨拶と笑顔。
- ・他からも住みたいと思えるまちづくり。
- ・ディスカウントショップがない。

3. 黒川町のよかところ、課題

1) 黒川町のよかところ

黒川町は、波静かな伊万里湾や玄海国定公園大平山など、豊かで美しい自然に抱かれていて、先祖より築かれてきた誇れる郷土があり史跡や芸術などの文化面、観光資源なども多く魅力ある町です。

黒川町は、商工業地区と農業を営む田舎の両面のよさを持っています。温かみと人情味ある田舎としての魅力を持つ一方で、造船業やコンテナターミナルなどの発展し、併せて、イマリンビーチや夢みさき公園などの観光面でも栄える魅力を持っています。

さらに、小黒川・塩屋・大黒川の三区合同の「もっこ踊り」や若宮神社の「祇園祭」、「秋の例大祭」、畑川内八坂神社の「観音様祭」など、歴史や文化の魅力も併せ持っています。

こうした黒川町のよかところは、これからも町民みんなで守り育み、まちづくりに活かしていきたいものです。ここでは、黒川町の魅力について人、物、事に分けて整理してみました。

① 人についての魅力

○人がよい

- ・人が親切
- ・実直な人柄
- ・人情が豊か
- ・人がやさしい
- ・明るく元気がある
- ・おおらかさがある
- ・思いやりがある

○つきあいがよい

- ・人の集まりがいい
- ・人の輪があって結束力がある
- ・人付き合いがいい
- ・みんな仲がいい
- ・地元の人と移住者が仲良くすめる
- ・子どもがよく挨拶をする
- ・イベント開催に協力的
- ・コミュニケーションがとりやすい



○人材が豊富である

- ・シニアリーダーが育っている
西部・中部・東部老人クラブ
- ・中堅、壮年層も活発
親と子の読書会、作楽会、学校サポーター、家読連絡会、
ふるさとまつり実行委員会、ふれあいのまちづくり推進協議会 など

○お年寄りが元気である

- ・老人が元気で活動が活発
町の各活動への積極的な参加、学校安全サポーターとしての「校内安全サポーター」などの活動

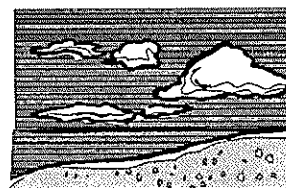
○地域の活動に熱心である

- ・ボランティアグループがたくさんある
婦人会、老人クラブ、農協女性部、農協青年部、あゆみ会、学校サポーター、
子供見守り隊、黒パト隊、など
- ・子ども会等青少年活動のお手伝いをシニアの方が熱心にされている
幼稚園との交流、小学校安全支援活動 など
- ・シニアの活動は有名
町内 19 地区の会員で実施している「学校安全サポーター」は、県内でも
ユニークで先進的な取り組みとして平成 20 年度市教育委員会表彰を受ける
- ・青年部などの活動がさかんである
農協青年部の「西九州伊万里凧上げ大会」の主体的な取り組みや、真手野、
椿原地区などでの村おこし事業での青年部の活動 など

② 物についての魅力

○自然が豊か

- ・自然が豊かで空気がきれい
深山地区運動広場は、夜空の明るさ度合いを競う「全国星空継続観測」で、全国で
10 位以内を 6 回も得ていて全国でも有名
- ・青い海と山の緑が素晴らしい
伊万里湾、大平山、城古岳 など
- ・日の出、夕日がきれい
城岳中腹から臨む日の出、伊万里湾に沈む夕日



- ・シンボルとなる公園

玄海国定公園大平山、イマリンビーチ、いまり夢みさき公園 など

- ・清らかな天然水

横野の「寺の川清水」、花房の「ウグイスの水」など

○歴史文化資源が残っている

- ・地名に残る歴史

塩屋、横土井、土井頭、立土井、波止端、袖落

- ・史跡が多い

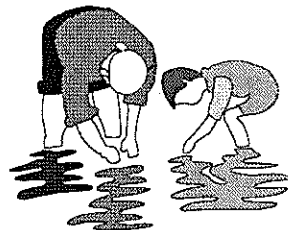
干潟の「イロハ石」、大黒川の「熊野権現」、塩屋の「竜宮神社」、小黒川の「左源太夫様供養塔」、牟田の「箕輪観音」、畑川内の「八坂神社」、真手野の「豊穀神社」、花房の「浅間神社」、小黒川の「若宮神社」

- ・誇れる自然の名所

小黒川の「飛び太郎岩」、「おらびヶ丘」(大黒川) 市天然記念物横野の「サワラの木」、清水の「宝燈の滝」、牟田城古岳中腹からの絶景、清水から眺める棚田の景観 など

○良質の農産物

- ・市内で有数の米の生産地であり、深山の良質米は人気
- ・東部地区キュウリ等のハウス栽培が盛ん



③ 事についての魅力

○住みやすい

- ・明るく活気があって住みやすい
- ・農村部と住宅地との調和がとれている
- ・海や山など自然が豊かで子どもたちに自然体験させるのに良い
- ・イマリンビーチやいまり夢みさき公園などがあってゆっくりのんびり楽しめる

○黒川ならではのイベントや祭りがある

- ・西九州伊万里凧上げ大会
- ・夢みさきクロスカントリー大会
- ・真手野区夏祭り等の村おこし



・椿原灯籠祭り

・各地の祭り

福田の「四大祭」、浦潟の「浦潟港まつり」、大黒川の「権現祭り」、小黒川・塩屋・大黒川三区合同の「もっこ踊り」、花房の「疫神様祭り」、若宮神社「例大祭」 など

・盛大な「ふるさとまつり」

黒川町に立地する企業・商店など、町民総参加で行なう「ふるさとまつり」は市内でも最も賑あう祭りである

・畑川内区、真手野区、名村団地に残る「盆踊り大会」

・農村部に引き継がれて行なわれている「鬼火焚き」

○郷土芸能が受け継がれている

・「もっこ踊り」

・「浮立」の継承

西谷の浮立、畑川内の浮立の継承



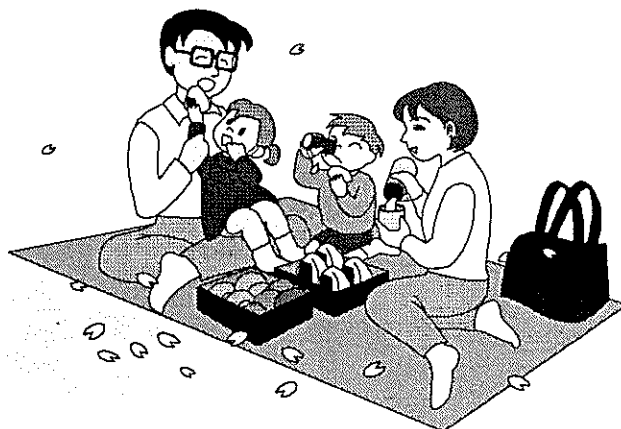
○交流の場がある

・ふれあい、交流の場が多い

イマリンビーチ、夢みさき公園、大平山公園、黒川公民館 など

・ふれあい、交流の行事が多い

「ふるさとまつり」、「西九州伊万里凧上げ大会」、「夢みさきクロスカントリー大会」、家読推進活動による「親と子の読書会」、町民体育大会など各種のスポーツイベント など



2) 解決したい黒川町の課題

黒川町はたくさんの魅力を持つ一方で、解決すべき課題もあります。黒川町が抱える課題を考えてみましょう。町民アンケート調査から出されたご意見や次に紹介します「黒川町の各種団体調査」で上がっていました課題等について整理してみました。

黒川町の「各種団体調査」

黒川町は、町民の生活や福祉向上のための牽引者として活動しています「区長会」をはじめ、社会教育や福祉、スポーツ、教育、農業などの各種団体の活発な活動によって町づくりなり町の発展が築かれています。

今回、「黒川町元気推進プラン」を策定にあたり、各種団体の「活動内容、活動目的・計画、課題」についての調査を行いました。特に、各団体から出た課題等について計画策定の資料にすることにし、以下のとおり内容を整理しました。

< 町内の各種団体 >

1. 区長会、2. 生産組合長会、3. 自治公民館主事会、4. 体育協会、5. 公民館運営審議会、6. 青少年育成町民会議、7. 人権・同和教育推進協議会、8. 防犯協会、9. 婦人会、10. 子ども会育成会、11. 交通対策協議会、12. 交通安全協会、13. 明るい選挙推進協議会、14. 西部老人クラブ福寿会、15. 中部老人クラブ、16. 東部老人会、17. 開発促進協議会、18. ふるさと祭り実行委員会、19. クロスカントリー実行委員会、20. 家読連絡会、21. 親と子の読書会、22. ふれあいのまちづくり推進協議会、23. 黒川塾、24. 作楽会、25. 文化サークル(囲碁、カラオケ他)、26. 健康教室、27. 黒川町パトロール隊、28. 子どもみまもり隊、29. 地区防災会、30. 学校サポーター、31. 民生児童委員、32. 黒川消防団、33. 黒川小学校育友会、34. 青嶺中学校育友会、35. 農協青年部、36. 農協女性部、37. 凧上げ大会実行委員会、38. 福祉活動委員、39. 黒川あゆみ会、40. 食生活改善推進協議会、41. ふるさと研究会

< 各種団体から出された課題等 >

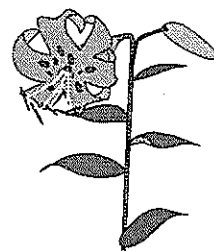
黒川町内で活動されている41の各種団体のうち、15の団体から次のような課題等が出されました。

〔自治公民館主事会〕

- ・地区により、活動内容に差がある。
- ・町の行事において、主体となる事業がない。

〔民生児童委員会〕

- ・最近、個人情報・プライバシーに関する情報の入手が難しくなった。



- ・高齢化の中での独居老人の問題と対応

[婦人会]

- ・婦人の社会進出や価値観の多様化に伴う会員の減少。

[老人クラブ連合会]

- ・三単位クラブの今後ますますの連携と会員増強が当面の課題。

[西部老人クラブ福寿会]

- ・夢みさき公園に公認のグラウンドゴルフ場を設置して欲しい。
- ・棚田祭りを検討してもらいたい。
- ・独居老人への福祉活動を老人会、婦人会、あゆみ会などで個々に行っているのに一緒にできないか。
- ・健康教室も老人会と敬愛園と別々にしている。

[開発促進協議会]

- ・ハード事業の要望事項の実施まで長い期間がかかる。

[黒川小学校育友会]

- ・犯罪やネット・メールの悪質情報から子どもを守る。
- ・命の大切さについて、子どもを含め周知する。

[青嶺中学校育友会]

- ・生徒数減少による活動の縮小と予算減をどうカバーしていくか。

[ふるさとまつり実行委員会]

- ・新しい趣向の検討。

[クロスカントリー実行委員会]

- ・参加者アップ、公園のピーアール。

[綱上げ大会実行委員会]

- ・予算の確保、事業化、採算性の検討。

[福祉活動員]

- ・地域・個人の温度差があり、活動にかなりのバラツキがある。

[ふるさと研究会]

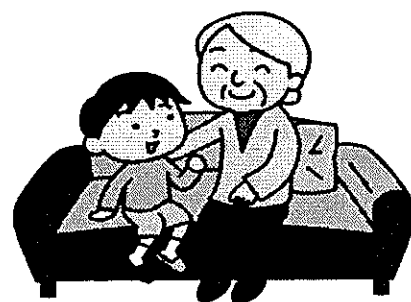
- ・植生調査やその保護、それにビオトープ作りの試みについて限られた人でやっているのに、団体の活動までに高める必要がある。

[地区防災会]

- ・自主的なものなので、会員の登録だけに終わっている地区がほとんどである。

[学校サポーター]

- ・学校の取り組みから地域の財産へ。
- ・めざせ「教育の町 日本一」



課題等の整理

- ・ 「アンケート調査」や「各種団体調査」及び、会合などからの意見や課題等を下記の通り整理してみました。

① 地域振興に関連して

○ 地域振興、地域活動への関わりが十分とはいえない。

- ・ 「町開発促進協議会の認知度」で、「あまり知らない。全く知らない。」が80%と高い。… [アンケート調査]
- ・ 「ふれあいのまちづくり推進協議会」についても、「あまり知らない。全く知らない。」が86%となっている。… [アンケート調査]
- ・ 特に、近年、他の町から移って来られた人が地域の活動への参加が少なくなっているのでは。… [アンケート調査]
- ・ 地域活動が活発な地区とそうでない地区の差がある。… [アンケート調査]
- ・ 地区により、活動内容に差がある。… [各種団体調査]
- ・ 町の行事において、主体となる事業がない。… [各種団体調査]
- ・ ハード事業の要望事項の実施まで長い時間がかかる。… [各種団体調査]
- ・ 「ふるさとまつり」の新しい趣向の検討。… [各種団体調査]
- ・ 「夢みさきクロスカントリー大会」の参加者アップ、公園のピーアール。… [各種団体調査]
- ・ 「西九州伊万里凧上げ大会」の予算確保、事業化、採算性の検討。… [各種団体調査]

○ 若い人が少なくなっている

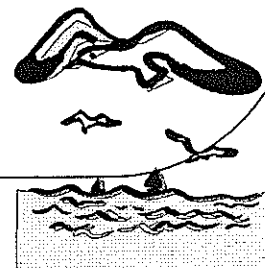
- ・ 若者が少ない。… [アンケート調査]
- ・ 子どもが少なくなった。… [アンケート調査]

○ 地域振興策として（町民アンケート調査から）

- ・ 他から住みたいと思えるまちづくりを。… [アンケート調査]
- ・ 大平山をコスモスを植栽するなどして町全体で管理を。… [アンケート調査]
- ・ 清掃、美化活動などに取り組み美しいまちづくりを。… [アンケート調査]

○ 行事が多い

- ・ 行事や会議が多すぎる。… [アンケート調査、40歳代]
- ・ 行事が多すぎる。… [アンケート調査、60歳代]



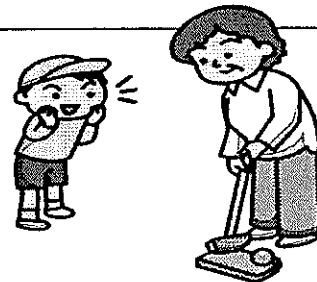
② 体育推進に関して

○夢みさき公園イベントで

- ・夢みさき公園に公認グラウンドゴルフ場を設置して欲しい。…〔各種団体調査〕
- ・クロスカントリー大会への参加者アップと公園のピーアールを。…〔各種団体調査〕

○施設の充実

- ・「雨の日でも出かけられるスポーツ施設を」との意見があった。…〔アンケート調査〕



③ 青少年育成に関して

○学校問題で

- ・学校が遠い。…〔アンケート調査〕
- ・バス利用者の登下校時間の問題。…〔会合等の意見〕
- ・犯罪やネット・メールの悪質情報から子どもを守る。…〔各種団体調査〕
- ・命の大切さについて、子どもを含め周知する。…〔各種団体調査〕

○子どもがいろいろ体験できる機会が少ない

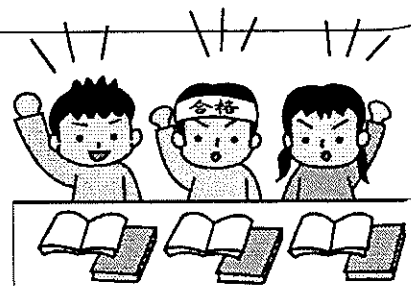
- ・子どもが楽しめるイベントが少なくなっている。…〔アンケート調査〕
- ・昔の遊びが子どもたちに伝わっていない。…〔会合等の意見〕

○子どもが少なくなっている

- ・子どもが少ない。…〔アンケート調査〕
- ・少子化が進んで小学校に入学する児童が減っている。…〔アンケート調査〕
- ・地域での子ども会事業が取り組めなくなっている。…〔会合等の意見〕
- ・生徒数減少による活動の縮小と予算減をどうカバーしていくか。…〔各種団体調査〕

○教育の町 日本一

- ・学校の取り組みから地域の財産へ。めざせ『教育の町 日本一』…〔各種団体調査〕



④ 健康・福祉に関して

○高齢化が進んでいる

- ・高齢化の一層の進行に対応して高齢者にやさしいまちづくりが必要である。…〔会合等の意見〕
- ・高齢化の中で独居老人の問題と対応。…〔各種団体調査〕

○地域の福祉に取り組む体制が十分でない

- ・行政区ごとに地域の福祉事業を行なう組織がない。…〔会合等の意見〕
- ・婦人の社会進出や価値観の多様化に伴う会員減…〔各種団体調査〕
- ・人の世話をする意識が田舎と町部で差がある。…〔会合等の意見〕
- ・ボランティア活動に参加している人は女性が多い。…〔会合等の意見〕
- ・30・40代の人で人の世話をする人が少ない。…〔会合等の意見〕
- ・三単位老人クラブの今後ますますの連携と会員増強が課題。…〔各種団体調査〕

○各活動に関して

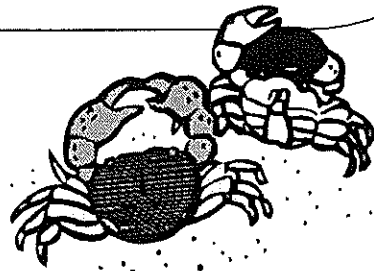
- ・独居老人への福祉活動を老人会、婦人会、あゆみ会など個々に行っているのでは一緒にできないか。…〔各種団体調査〕
- ・健康教室についても、老人会と敬愛園と別々にしている。
- ・福祉活動では、地域・個人の温度差があり、活動にかなりのバラツキがある。…〔各種団体調査〕

○お年寄りの交通の便が悪い

- ・町公民館を中心に考えると特に高齢者の交通の便が悪い。…〔会合等の意見〕
- ・深山地区など地区によって特に不便なところがある。…〔会合等の意見〕
- ・主人が運転できなくなると病院に行けなくなる。…〔アンケート調査〕

○食の関心が低い

- ・食の関心は男性の意識が低い。…〔会合等の意見〕
- ・食の関心は、50～60代が低く、20～30代が高い。…〔会合等の意見〕
- ・食育推進に係わる会議等への関心が低い。…〔会合等の意見〕
- ・食の関心は男性の意識が低い。…〔会合等の意見〕…〔会合等の意見〕
- ・食の関心は、50～60代が低く、20～30代が高い。…〔会合等の意見〕
- ・食育推進に係わる会議等への関心が低い。…〔会合等の意見〕



⑤ 文化・情報に関して

○伝統芸能等の継承

- ・浮立などを復活したくても指導者がいなくなっている。…〔会合等の意見〕
- ・祭り等の復活には費用がかかる。…〔会合等の意見〕
- ・若者が少なくなって後継者がいない。…〔会合等の意見〕

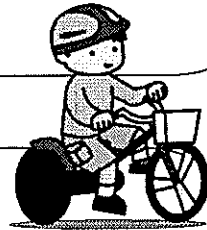
○ふるさと研究

- ・「ふるさと研究会」の活動で、植生調査やその保護、それにビオトープ作りの試みについては限られた人でやっているのので、団体の活動までに高める必要がある。…〔会合等の意見〕

○情報化について

- ・パソコンの普及が低い。…〔会合等の意見〕
- ・情報提供の意識がまだ十分でない。…〔会合等の意見〕
- ・犯罪やネット・メールの悪質情報から子どもを守る。…〔各種団体調査〕
- ・最近、個人情報・プライバシーに関する情報の入手が難しくなった。…〔各種団体調査〕

⑥ 安全環境に関して



○交通安全の意見

- ・大黒川入り口（工業団地交差点）の道路拡張を。…〔アンケート調査〕
- ・朝夕の交通渋滞の解消を。…〔アンケート調査〕
- ・大型車が多く通学が危険、ラッシュ時の迂回路も危険。…〔アンケート調査〕
- ・アドバイスマirror等の設置希望個所がある。…〔会合等の意見〕
- ・通学路を車がとばす。…〔会合等の意見〕

○ゴミ等のマナーについて

- ・道路にゴミを捨てる。…〔会合等の意見〕
- ・カン、ビンのポイ捨てが多い。…〔会合等の意見〕
- ・ゴミが不法投棄されている。…〔会合等の意見〕
- ・猫に道路端でエサをやる方がいて困っている。…〔アンケート調査〕
- ・犬のフン公害がある。…〔会合等の意見〕
- ・清掃、美化活動などに取り組み美しいまちづくりを。…〔アンケート調査〕

○防犯・防災対策について

- ・街灯が少なくて暗い。…〔会合等の意見〕
- ・学生が暗い中を帰っている。…〔会合等の意見〕
- ・「地区防災会」は自主的なものなので、会員の登録だけに終わっている地区がほとんどである。…〔各種団体調査〕

主要な課題

- ・ 町民アンケート調査をはじめ、各種団体調査および会合などからの意見を基本に、黒川町が抱える課題を次の8つに整理しました。

課題 1

地域振興への関わりが十分といえない面がある。村おこしなどの地域活動に部落間の差があります。

町開発促進協議会やふれあいのまちづくり推進協議会などについての町民の認識度が低い状況があります。また、地域活動が活発な一部の地域とそうでない地域があり地区によって差があります。

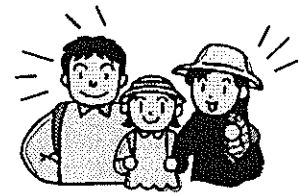
課題 2

社会状況の変化などによる会員減少や役員への負担増などで体制のあり方が問われています。

婦人の社会進出や価値観の多様化に伴う会員が減少していることや会員増になっていない老人クラブの状況があります。また、行事が多すぎるとの声もあり、役員の中で在職勤務者は仕事との両立が大変困難な状況にあります。

課題 3

恵まれた豊かな自然を更に地域活性化のために活かす取組みが求められています。 クロスカントリー大会への参加者を増やしたり公認のグラウンドゴルフ場の設置をして夢みさき公園を町内外に更なるピーアールをすべきとか、大平山公園にコスモスを植栽して町全体で管理するなどの取組みを望む声があります。



課題 4

子どもが少なくなっている中で、子育ての環境をよくしたい。

少子化の進行により小学校に入学する児童が減っているし、地域での子ども会事業が取り組めなくなっている地区も出てきています。また、情報化の進展によるネット・メールの悪質情報から子どもを守る対応も発生しています。

ただ、黒川は学校そのものの取組みや学校をサポートする町全体の支援策などが成果があり『教育の町 日本一』をめざしています。

課題 5

健康や老後の生活に対する不安を持つ住民が多く、対策が必要となっています。
高齢化の中で独居老人の対応が課題であります。老人会、婦人会、あゆみの会などが個々に行っている独居老人の対策も一緒に行う充実策の推進など、高齢者にやさしいまちづくりを行う必要があります。また、人を世話する意識の高揚やボランティアへの参加を求める声も多く、更に、健康教室の充実や福祉活動全般の活発化に取り組む必要性もあります。

課題 6

安全・安心に対する不安感も高いといえます。

大黒川入り口(工業団地交差点)の道路拡張や朝夕の交通渋滞の解消策など、道路交通の安全策に対はする意見があります。また、犯罪やネット・メールの悪質情報から子どもたちを守る対策を望む声が出てきていますし、命の大切さについて子どもを含め住民全体の周知策も必要であります。

課題 7

公共交通機関が不十分なため、町内の生活は少々不便です。

バス運行の見直しなどにより、高齢者や交通手段を持たない人、また、運転ができなくなった時は、町の中心部や病院への通院に不便を来たしている人がいますしそうした地区があり生活に不安を訴える声があります。

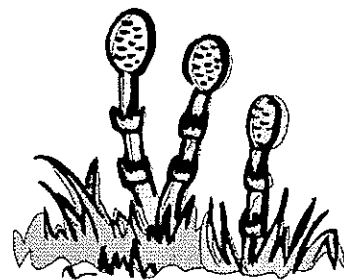
課題 8

地域の伝統芸能などの伝承の必要性や情報化への対応が求められています。

地区によっては、浮立の復活に取り組まれています。再興を望む声があっても指導者が居なかったり後継者の若者が少ないなどの課題が出てきています。

ふるさと研究会に言われているように団体全体の活動を更に高める文化活動の振興策の必要性の声もあります。

また、情報化が進んでいる中にあり町民の意識の高揚を図りパソコンなど機器の普及を図った情報化への対応の必要性があります。



4.黒川町の将来像

1) まちづくりのキーワード

黒川町の将来像を明らかにする上で、重要なキーワードを黒川町の自然環境や生活形態、また、「町民元気推進アンケート調査」や「黒川町各種団体調べ」などからの意見などから整理すると、次のようなキーワードをあげることができます。

- | | | |
|-----------|--------|---------|
| ○恵まれた自然環境 | ○景観 | ○厚い人情 |
| ○活気 | ○ふれあい | ○郷土愛 |
| ○ひとづくり | ○健康づくり | ○生きがい |
| ○子育て | ○家読 | ○教育の町 |
| ○地域資源の活用 | ○歴史・文化 | ○情報の受発信 |
| ○工業と農業の共存 | ○安全・安心 | |

2) まちづくりの基本理念

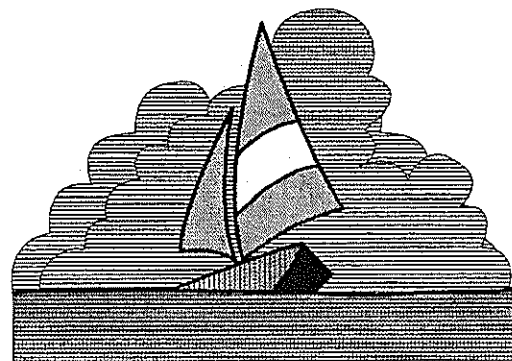
伊万里駅から国道 204 号を車で北上して 10 分程、田園の中に点在する瀬戸地区の集落の光景を抜けると朱色の巨大クレーンが青空に立そびえ、潮の香りとともに青い海が広がる風景が飛び込んで来ます。黒川町のシンボルであります美しい海が黒川町の入り口となっています。

また、黒川町の南東に位置する玄海国定公園大平山の山頂からは緑豊かな山々に囲まれた黒川の町のほぼ全景を望むことができます。徳須恵川支流板治川に沿って栄える東部地区、立川両岸の集落の西部地区、そして、拝川沿いには深山地区と椿原地区の集落が点在しています。

黒川町は、「山と海に囲まれた自然豊かな黒川町」と町民憲章に謳われているとおり、自然が豊かな町であります。

このような青い海と緑の山は、黒川町のシンボルであり、後世に残すべき大切な宝です。こうした地域の宝である豊かな自然を活かしながら目標をもってまちづくりに取り組む町は、明るく元気な活力のある町となり住み続けたい町となり、また、他の町からも訪れたいところにつながるものであります。

豊かな自然の中で、生き生きと健康で生涯を明るく楽しく暮らして行けることは、黒川町民の共通の願いです。誰しも地域社会から孤立して生きていくことはできず、何らかの形で地域



のお世話になっていることを気づかなければなりません。一人一人が地域づくりに貢献することを基本に、住民同士のふれあいや交流を通してつながりを深めていきます。

豊かな自然に恵まれて、健康に暮らす黒川町がめざす町づくりの方向は

「山と海に囲まれた自然豊かな町、人と人 つながりあえる黒川町」

です。

5. まちづくりの計画

- ・ 黒川町の将来像の実現を導くために、黒川町まちづくり運営協議会の6つの事業部会（地域振興、体育推進、青少年育成、健康福祉、文化情報、安全環境）で、解決したい黒川町の課題等に対して課題解決のための具体的提案を検討しました。その結果、次の6つの基本テーマを設定し、そのテーマに基づき具体的な行動計画を積み上げました。

I. 豊かな自然を活かしてみんなが支え合うまちづくり

II. スポーツ振興による健康なまちづくり

III. 子どもがいきいき育つまちづくり

IV. 高齢者がいきいき暮らせるまちづくり

V. 地域の歴史や文化を活かしたまちづくり

VI. 安心・安全に暮らせるまちづくり



I. 豊かな自然を活かしてみんなが支え合うまちづくり・地域振興部会

町民アンケート調査で、黒川町で好きなものとして「自然が豊かで風景がきれい。」と答える人は5割を越し第1番目となっていて、豊かな自然が町民の宝になっています。

地域活動については、活発なところとそうでない地もあり地区毎の差があって全町的な広がり課題であります。恵まれた地域資源を活かし、多くの町民と一緒に参加するコミュニティ活動を推進していきます。

【課題の柱】

1. 自然豊かな地域の特性を活かしたまちづくりと町民交流

《具体的な行動計画》

- ①黒川町の名所の活性化
 - クロスカントリー大会の拡充（夢みさき公園）
 - 西九州伊万里凧あげ大会の拡充（イマリンビーチ）
 - 大平山の観光整備
 - 食事や特産品が買えるような場所の整備
 - 棚田祭りの検討
- ②町民交流
 - 「ふるさとまつり」の新趣向の検討



<クロスカントリー大会>

2. 地区活動の活性化と区民交流

《具体的な行動計画》

- ①浮立の継承と拡充・PR
- ②地区祭りの継承と拡充・PR
 - 浦瀧の「港まつり」、真手野・畑川内・名村団地の「夏祭り」、西部地区の「祇園祭り」、大黒川の「権現祭り」など
- ③地域おこし活動の推進とPR
 - 椿原の「拝川竹灯籠祭り」、小黒川の「除夜の鐘竹灯籠」、清水の「宝燈の滝」、深山地区・奥野の「区民運動会」など
- ④主事会が中心となった地区活動の推進

3. 交通状況の改善

《具体的な行動計画》

- ①道路網の整備
 - 国道204号、黒川松島線バイパス、七ツ島線臨港道路、奥野干潟間、塩屋大曲線の整備
- ②地域循環コミュニティバスの整備
 - 例えば、伊万里西部地域で取り組まれている事業の黒川版

4.自治公民館活動の充実

《具体的な行動計画》

- ①区長会、主事会の連携（負担の軽減）
 - 地区行事、自治公民館活動等
- ②主事会の役割を明確にする
 - 役職の分散（兼務を減らす）



Ⅱ. スポーツ振興による健康なまちづくり・・・・・・・・・・ 体育推進部会

町民アンケートでは、現在及び将来に向けて困っていることでは、1番目が「老後の不安」、2番目が「自分の健康」、3番目が「家族の健康」と答えていて、健康や老後の生活に不安を持つ人が多くなっています。

このため、町民のだれもが、生涯にわたり、それぞれの体力や年齢に応じて気軽に参加できるようなスポーツの振興を図り健康なまちづくりをめざします。

【課題の柱】

1.町民スポーツの充実

《具体的な行動計画》

- 町民体育祭の充実
- 町民球技大会の充実
- ナイターソフトボール大会の充実
- バレーボール大会の充実
- 町内一周駅伝大会の充実
- ニュースポーツ大会の開催



<町民体育祭>

Ⅲ. 子どもがいきいき育つまちづくり・・・・・・・・・・ 青少年育成部会

町民アンケートの「黒川町をもっと住みやすくするために何が必要か。」との問いで、「子どもがいきいきと育つような環境づくり」と答えた人が36%と一番多く子育ての環境づくりに強い関心があります。

黒川町は、「子ども会育成会」、「家読連絡会」、「親と子の読書会」、「学校サポーター」などの活動が活発で支援体制は充実しています。次代を担う子どもたちは、「黒川町の宝」であり、のびのびと元気に育つためには、地域全体での係わりが大切になります。各団体や学校・行政と連携を図り、各種取り組みを行ないます。

【課題の柱】

1. 家族の信頼や絆を深める家庭づくりを支える

《具体的な行動計画》

- 親が子育てについて学ぶ場をつくる
- 子どもと親の絆を深める家読を更に推進する（就学前児童まで広げるなど）



<黒川町「家読集会」>

2. 子どもの地域との交流の場や体験活動の場を広げる

《具体的な行動計画》

- 林業研修センター等を利用して、生活体験や農業体験ができる活動を行なう
- 老人クラブなど地域の人材を生かした活動を増やす
- 部活動などの学校活動に地域の人が積極的にかかわる場を増やす
- 大人や上級生、下級生など異年齢との交流や活動の機会を作る
- 中学生で一緒になる波多津の子どもとの交流機会を作る

3. 子どもを危険から守るために地域の環境を良くする

《具体的な行動計画》

- 地域で子育てするという意識や関心を高め、近所の子どもでも叱れるような環境を目指す
- 有害情報や危険な場所につながるため、小中学生には携帯電話を持たせないようにする
- 地域住民が子どものおかれた環境や状況を理解するための集会や研修会を開催する
- 放課後児童クラブに参加できる学年を引き上げる

IV. 高齢者がいきいき暮らせるまちづくり・・・・・・・・健康福祉部会

高齢化の進行とともに「老後の生活への不安」の町民の声は高くまた、「高齢者がいきいきと暮らせるような環境づくり」への期待の声が高い状況にあります。

老人会や婦人会、民生児童委員会、福祉活動員などとの連携を図り各種事業に取り組みます。

【課題の柱】

1. 少子高齢化の進行に伴う情報把握と高齢者対策

《具体的な行動計画》

- 各団体から情報を提供しあい、連絡網を整備する
- 広報（館報）を利用して、町民へ情報を流す
- 各地区で、各団体の連携による高齢者との交流会（ふれあいサロン）の開催

- 介護施設との連携
- 三世代による軽スポーツ大会の開催（グラウンドゴルフなど）
- 交通手段の調査・研究を行い、行政に働きかける（福祉バス、福祉タクシーなど）
- 公認のグラウンドゴルフ場の設置に向け行政に働きかける（夢みさき公園）

2.地域福祉への取り組み体制の充実

《具体的な行動計画》

- 各団体の事業の重複を見直し、互いが協力し合えるような取り組み体制を図る
- 各組織の再構築に取り組み、役割の再認識と各団体の連携を行う
 - ・地域における各団体の組織をみつめ直し設置理由など基本理念を確認しあう
 - ・地区役員に協力してもらい組織の再構築を行う。また、それぞれの団体の連携を進める

3.健康づくりの推進

《具体的な行動計画》

- 食育の推進
 - ・各団体と共に、ふれあい給食や料理教室等を行う
 - ・学校と連携し、食育を推進する（老人クラブ・きゅうり栽培授業、JAとの米づくり・もちつき大会など）
- 誰でも参加できる料理教室の開催
- 健康教室の開催（各団体連携）
 - ・ダンス、歌、料理教室など、多方面から健康教室を開催
- 食育推進体制の整備



<グラウンドゴルフ大会>

V. 地域の歴史や文化を活かしたまちづくり・・・・・・・・文化情報部会

自然が豊かな中に誇れる名所が多くあり、また、歴史的な文化資源も多いといえます。更に、浮立の伝承や再興に取り組みされている地区や新たな村おこし活動をされている地区もあります。

指導者や後継者不足などでその活動において地域差もありますが、これらの地域文化資源を活かし、また、先導的なまちづくりを全体に広げるためにさまざまな取り組みを行ないます。

【課題の柱】

1. 伝統文化の継承保存

《具体的な行動計画》

- 学校や子ども会等が連携した地域文化の伝承活性化
 - ・子ども達に浮立など伝統芸能を伝える場をつくる
 - ・複数地区で地域文化を学ぶ場をつくる（単独地区では難しいため）
 - ・指導者を発掘し育成する
 - ・発表の場を設ける

2. 史跡の保存、地域自然の保護

《具体的な行動計画》

- 有志を募って活動を広げる
- 詳しい説明を書いた説明板を設置する
- 町民の関心を高めるために、知ってもらえるような活動を行う

3. 文化行事に地域の人々の関心を高める

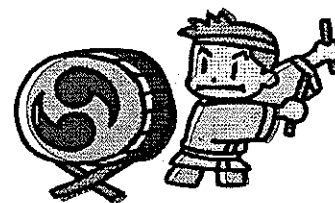
《具体的な行動計画》

- ふるさと紹介（公民館報）を冊子にして紹介する

4. 地域情報発信のためのホームページの活用

《具体的な行動計画》

- 町内パソコン人口（世帯数）の調査
- 当面は館報で紹介
 - ・地域情報の収集整理を行いホームページで発信する。情報内容、発信先に応じてwebを有効に利用する



VI. 安心・安全に暮らせるまちづくり・・・・・・・・・・安全環境部会

朝夕の交通渋滞の解消や大型車の通行が多く通学児童等の安全確保など、交通安全対策を望む声や一部の道路拡張及び公共交通機関の充実などを求める町民の声も高いといえます。

また、犯罪やネット・メールの悪質情報から子どもを守る声も出ていることから、子どもからお年よりまで含めた町民全体が安全・安心に暮らせるまちづくりを目指します。

【課題の柱】

1. 朝夕の交通渋滞の解消

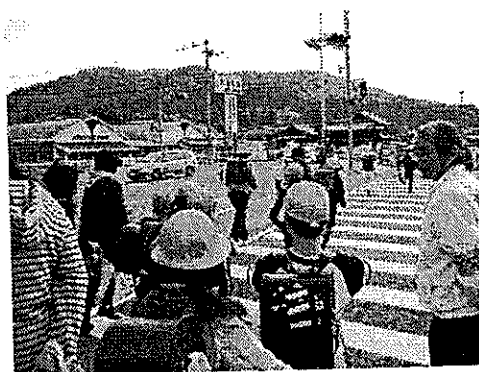
《具体的な行動計画》

- 交通規制の工夫
 - ・塩屋北、塩屋東信号の連動化
 - ・左右折レーンの見直し
- インフラの整備
 - ・塩屋トンネル道路改良と臨港道路の早期着工

2. 通学路の安全確保

《具体的な行動計画》

- 交通規制の工夫
 - ・追越し禁止ラインの延長（真手野～重橋）
 - ・減速距離の延長（黒川小学校前）
- インフラの整備
 - ・黒川松島線バイパスの早期着工
 - ・塩屋大曲線の北側歩道設置
- 地域事業所への要請
- 交通安全立哨指導の充実



＜黒川公民館前の通学風景＞

3. 防犯・防災対策の充実

《具体的な行動計画》

- 防犯灯設置必要箇所の調査
- 防犯灯の設置
- 笑顔のあいさつ運動
- 防犯・防災ネットワークの推進
 - ・子ども見守り隊、黒パト隊の活動充実（巡回ルートの見直し）
 - ・防災マップの作成（モデル地区：塩屋、浦分）
 - ・初期消火活動体制の整備（モデル地区：名村団地）

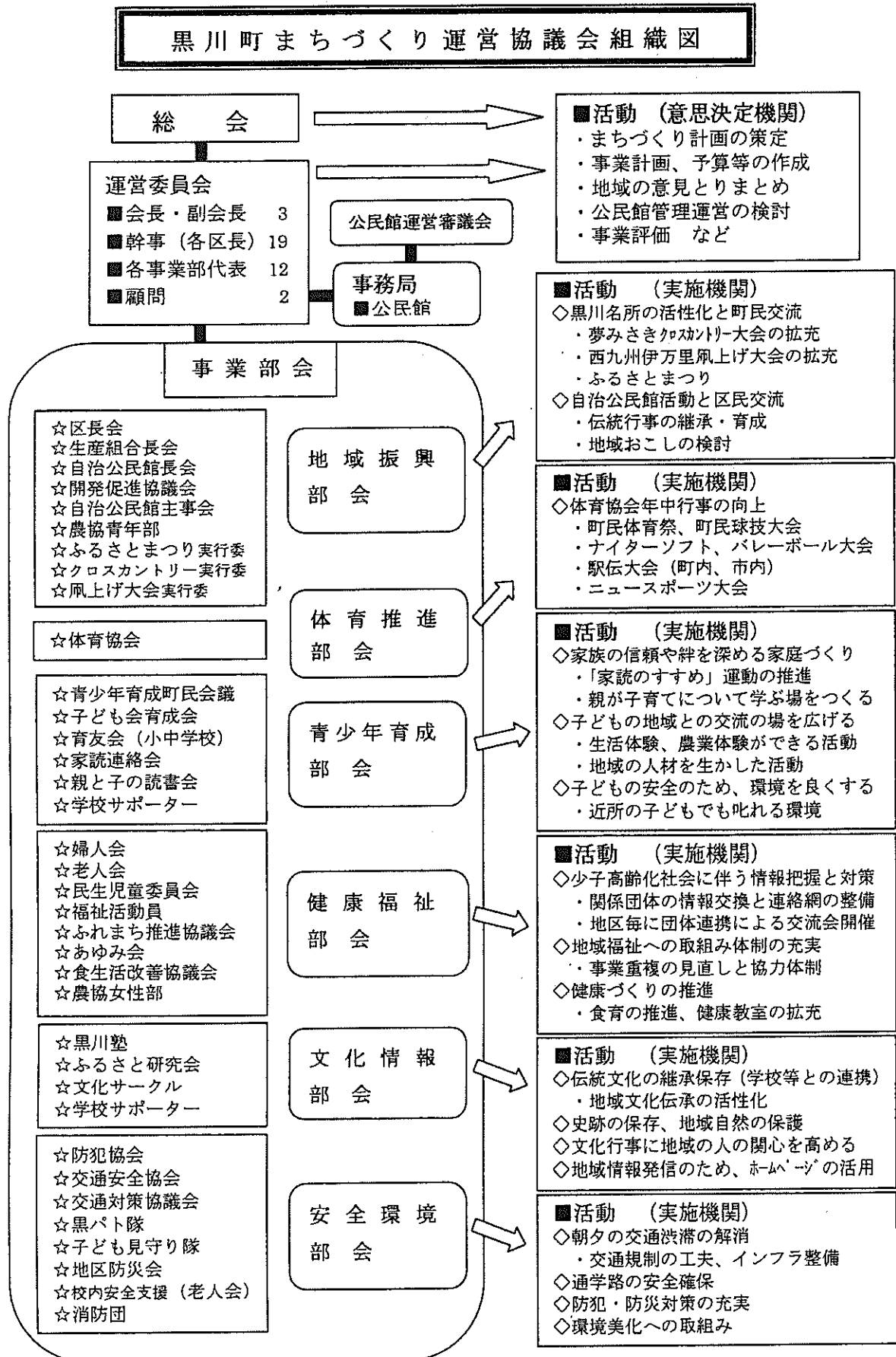
4. 環境美化への取り組み

《具体的な行動計画》

- 「ポイ捨て禁止」看板の設置
- 施設管理者への対策要請
- 「ゴミ拾い強化月間（週間）」の創設
 - ・地区活動として定着させる（子ども会等の取り組み）
- 地域事業所への環境美化活動の要請
- 学校・家庭へのマナー啓発

6. 黒川町元気推進プランの実現にむけて

(1) 元気推進プラン取り組み体制



○ まちづくりの推進スケジュール

まちづくりの6つの基本テーマに掲げた各種事業を実現していくためには、財政的な面や体制的な問題などで、即対応できるものや少し検討して時間を要するものがあります。そうした要素を考慮して取り組みのスケジュールを作成してみました。

◎ = 行政への要望 ○ = 町(部会)の行動

<p>(1)豊かな自然を活かしてみんなが支え合うまちづくり 【地域振興部会】</p>	<p>○夢みさぎクロスカウンター大会の拡充 ○西九州伊万里風あげ大会の拡充 ○浮立の継承と拡充・PR ○地区祭りの継承と拡充とPR(浦湯港祭り他) ○地域おこし活動の推進PR(拝川竹灯籠祭り、清水宝燈の滝、他) ○主事会の役割を明確にする。</p>	
<p>(2)スポーツ振興による健康なまちづくり 【体育推進部会】</p>	<p>○町民体育大会の充実 ○町民球技大会の充実 ○ナイターソフトボール大会の充実 ○バレーボール大会の充実 ○町内一周駅伝大会の充実 ○三世代による軽スポーツ大会の開催(例えば、グラウンドゴルフ、健康福祉部会から)</p>	
<p>(3)子どもがいいき育つまちづくり 【青少年育成部会】</p>	<p>○林業研修センターなどを利用して、生活体験や農業体験ができる活動を行なう ○子どもと親の絆を深める家談をさらに推進する ○有習情報や危険な場面に つながるため、小中学校生には携帯電話を持たせないようにする ○地域住民が子どものおかれた環境や状況を理解するための状況や研修会を開催する</p>	
<p>(4)高齢者がいきいき暮らせるまちづくり 【健康福祉部会】</p>	<p>○各団体が情報を提供し合い連絡網を整備する ○広報(館報)を利用した町民への情報提供 ○三世代による軽スポーツ大会の開催(例えば、グラウンドゴルフ) ○介護施設との連携 ○地域福祉への取り組み体制の充実として、各組織の再構築と、役割の再認識や各団体の連携強化 ○食育の推進 各団体との「ふれあい給食」や「料理教室」の開催。 各団体と学校が連携した食育の推進</p>	
<p>(5)地域の歴史や文化を活かしたまちづくり 【文化情報部会】</p>	<p>○ふるさと紹介(公民館報)を冊子にして紹介する</p>	
<p>(6)安全・安心に暮らせるまちづくり 【安全環境部会】</p>	<p>○通学路における交通安全立哨指導の充実 ○防犯灯設置必要箇所の調査 ◎防犯灯の設置 ○笑顔のあいさつ運動 ○子ども見守り隊、黒ハト隊の活動充実 ○防災マップの作成(モデル地区:塩屋、浦分) ○初期消火活動体制の整備(モデル地区:名村) ○環境美化としての「ポイ捨て」看板の設置 ○環境美化に關した学校・家庭へのマナーの啓発</p>	

既存事業・すぐに取り組めるもの

○ = 町(部会)の行動

◎ = 行政への要望

(6)安全・安心に暮らせるまちづくり 【安全環境部会】	◎交通安全の工夫 塩屋北・塩屋東信号の運動化や右左折レーンの見直しなど ◎通学路の安全立確保のための追越禁止ラインの延長や減速距離の延長 ◎環境美化への取り組みとして施設管理者への対策要請 ◎「ゴミ拾い強調月間(週間)」の創設 ◎地域事業所への環境美化活動の要請 ◎通学路の安全確保に関して地域事業所への安全要請
--------------------------------	---

(5)地域の歴史や文化を活かしたまちづくり 【文化情報部会】	◎史跡保存、地域自然の保護のため、有志を募って活動を広げる ◎史跡保存、地域自然の保護のための「詳しい説明版」の設置 ◎地域情報発信のための町内でのパソコン人口(世帯数)の調査 ◎地域情報の収集整理を行いホームページで発信する
-----------------------------------	--

(4)高齢者がいきいき暮らせるまちづくり 【健康福祉部会】	◎福祉バス・福祉タクシーなど交通手段の調査・研究を行い行政への働きかけ ◎誰でも参加できる「料理教室」の開催 ◎各団体と連携しダンス、歌、料理などの「健康教室」の開催 ◎食育推進体制の整備
----------------------------------	---

(3)子どもがいきいき育つまちづくり 【青少年育成部会】	◎親が子育てについて学ぶ場をつくる ◎部活動などの学校活動に地域の人々が積極的にかかわる場を増やす ◎老人クラブなど地域の人材を活かした活動を増やす ◎大人や上級生、下級生など異年齢との交流や活動の機会をつくる ◎中学校で一緒にいる波多津町の子どもとの交流機会を作る
---------------------------------	---

(2)スポーツ振興による健康なまちづくり 【体育推進部会】	◎「ニュースポーツ大会」の開催
----------------------------------	-----------------

(1)豊かな自然を活かしてみんなが支え合うまちづくり 【地域振興部会】	◎玄海国立公園大平山公園の観光整備 ◎ふるさとまつりの新趣向の検討 ◎地区活動があまり活動していない地区の王事会が中心になって検討 ◎地区行事や自治公民館活動などを区長会と王事会が連携した推進
--	---

少し検討をして取り組む

◎朝夕の交通渋滞解消に係わるインフラの整備 ◎塩屋トンネル道路の改良、臨港道路の早期着工 ◎通学路の安全確保に係わるインフラの整備 ◎黒松線ハイパスの早期着工、塩屋大曲線の北側歩道設置

◎学校や子ども会等が連携して、子ども達に弾立など伝統芸能を伝える場をつくる ◎複数地区で地域文化を学ぶ場をつくる(単独地区では難しいため) ◎伝統文化の継承保存のための指導者の発掘と育成 ◎浮立など伝統芸能などの発表の場を設ける

◎夢みさき公園に「公認ゴルフ場」の設置を行政に働きかける

◎地域で子育てするとい意識や関心を高め、近所の子どもでも叱れるような環境を目指す ◎放課後児童クラブに参加できる学生を引き上げる

◎夢みさき公園に「公認ゴルフ場」の設置を行政に働きかける(健康福祉部会から)
--

◎食事や特産品が売場できるような場所の整備(黒川名所の活性化) ◎棚田祭りの検討(黒川名所の活性化) ◎国道204号線、黒松線ハイパス、七ツ島線、養道路、奥野干潟線、塩屋大曲線の道路整備 ◎地域循環コミュニティバスの整備

じっくり検討して取り組む

(2)これからの進め方

黒川町のまちづくり基本計画を具体化し将来構想を実現するためには、個別の事業を

①短期的（既存のもの及びすぐに取り組むもの、3年以内）に行うもの、

②中期的（少し作戦を練るもの、4～7年）に行うもの

③長期的（じっくり時間をかける、8～10年）に行うもの

に整理し、また、行政に要望して実現をはかるものと、黒川町で取り組めるものにとまとめます。

なお、具体的な事業計画を立てるに当たっては、町民のアンケート結果等の意見を踏まえながら

黒川町まちづくり運営協議会事業部会において基本計画であげたテーマに沿った具体的な計画を、

「どのような事業にしていってよいか。」「どのようなまちづくりをしていってよいか」といった視点で検討を行い、

「既存事業の充実を図るもの」「見直しを行うもの」「新たに取り組むもの」などについて、短期・中期・長期に分けて取りまとめました。



○ 黒川町元気推進プラン事業 年度別スケジュール

◎ 二行政への要望 ○ 二町(部会)の行動

基本テーマ	課題の柱	具体的な事業	短期的(3年以内)					中期的(4~7年)					長期的(8~10年)						
			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度						
I. 豊かな自然を活かしたみんなが支えあうまちづくり	1. 自然豊かな地域の特性を活かしたまちづくりと町民交流	○クロスカントリー大会の拡充(夢みさき公園)																	
		○西九州伊万里桐あげ大会の拡充(イマリンヒト子)																	
	2. 地区活動の活性化と区民交流	○大平山の観光整備																	
		○食事や特産品の売買ができるような場所の整備 ○瀬田祭りの検討																	
II. スポーツ振興による健康なまちづくり	3. 交通状況の改善	○浮立の継承と拡充・PR																	
		○地区祭りの継承と拡充・PR																	
	4. 自治公民館活動の充実	○地域おこし活動の推進とPR																	
		○主事会が中心となった地区活動の推進 ◎道路網の整備 国道204号、黒川松島線バイパス、七ツ島線臨港道路、奥野干潟線、塩屋大曲線の整備 ◎地域循環コミュニティバスの整備																	
III. 子どもがいいき育つまちづくり	1. 町民スポーツの充実	○地区行事や自治公民館活動等での区長会と主事会の連携 ○主事会の役割を明確にする																	
		○町民体育祭の充実																	
	2. 家族の信頼や絆を深める家庭づくりを支える	○町民球技大会の充実																	
		○ナイターソフトボール大会の充実 ○バレーボール大会の充実 ○町内一両駅伝大会の充実 ○ニュースポーツ大会の開催																	
IV. 子どもがいいき育つまちづくり	3. 子どももの地域との交流の場や体験活動の場を広げる	○親子が子育てについて学ぶ場をつくる ○子どもと親の絆を深める家読を更に推進する(就学前児童まで広げると)																	
		○林業研修センターなどを活用して、生活体験や職業体験ができる活動を行う ○老人クラブなど地域の人材を生かした活動を増やす																	

基本テーマ	課題の柱	具体的な事業	短期的(3年以内)					中期的(4~7年)					長期的(8~10年)					
			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度						
			Ⅲ. 子どもがいまいきいき つまちづくり	2. 子どもの地域との交流の 場や体験活動の場を広げ る 3. 子どもを危険から守るた めに地域の環境を良くする	○部活動などの学校活動に地域の人 が積極的に参加する場を増やす ○大人や上級生、下級生など異年齢 との交流や活動の機会を作る ○中学生で一緒になる波多津町の子 どもとの交流機会を作る ○地域で子育てするという意識や関心 を高め、近所の子どもも叱れるような 環境を目指す ○有害情報や危険な場面につながる ため、小中学校生には携帯電話を持 たせないようにする ○地域住民が子どものおかれた環境 や状況を理解するための集会や研修 会を開催する ○放課後児童クラブに参加できる学年 を引き上げる													
Ⅳ. 高齢者がいきいき暮 らせるまちづくり	1. 少子高齢化の進行に伴う 情報把握と高齢者対策	○各団体から情報を提供しあい、連絡 網を整備する ○広報(館報)を利用して、町民へ情 報を流す ○各地区で各団体の連携によるお年 寄りとの交流会(ふれあいサロン)の開催 ○介護施設との連携 ○三世代による軽スポーツ大会の開 催(グラウンドゴルフなど) ○交通手段の調査・研究を行い行政 に働きかける(福祉バス、福祉タクシ ーなど) ○公認グラウンドゴルフ場の設置に向 けて行政に働きかける(夢みさ公園)																
	2. 地域福祉への取り組み 体制の充実	○各団体の事業重複を見直し、互いが協 力し合えるような取り組み体制を図る ○各組織の再構築に取り組み、役割 の再認識と各団体の連携を行う ○食育の推進 各団体との「ふれ あい給食」や「料理教室」の開催、各団 体と学校が連携した「食育」の推進 ○誰もが参加できる「料理教室」の開 催																
	3. 健康づくりの推進	○各団体と連携したダンス、歌、料理 などの「健康教室」の開催 ○食育推進体制の整備																
Ⅴ. 地域の歴史や文化を 活かしたまちづくり	1. 伝統文化の継承保存	○学校や子ども会等が連携して、子ど も達に浮立など伝統芸能を伝える場を つくる																

基本テーマ	課題の柱	具体的な事業	短期的(3年以内)					中期的(4~7年)					長期的(8~10年)						
			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度							
基本テーマ VI. 安全・安心に暮らる まちづくり	課題の柱 1. 伝統文化の継承保存	〇複数地区の地域文化を学ぶ場をつくる(単独地区では難しいため)																	
		〇伝統文化の継承保存のための指導者の発掘と育成 〇浮立など伝統芸能などの発表の場を設ける																	
	2. 史跡の保存、地域自然の保護	〇史跡保存、地域自然の保護のため有志を募って活動を広げる																	
		〇史跡保存、地域自然の保護のための「詳しい説明板」の設置 〇市民の関心を高めるために、知ってもらえるような活動を行う																	
課題の柱 3. 文化行事に地域の人の関心を高める 4. 地域情報発信のためのホームページの活用	〇ふさと紹介(公民館報)を冊子にして紹介する																		
	〇市内でのパソコン人口(世帯数)の調査																		
	〇地域情報の収集整理を行いホームページで発信する																		
	③交通規則の工夫 塩屋北、塩屋東橋号の運動化、右左折レーンの見直し																		
課題の柱 1. 朝夕の交通渋滞の解消	③インフラの整備 塩屋トンネル道路の改良、臨港道路の早期着工																		
	③沿道しきりラインの延長や減速距離の延長																		
	③黒川松島バイパスの早期着工、塩屋大曲線の北側歩道設置																		
	〇地蔵事業所への安全要請																		
課題の柱 2. 通学路の安全確保	〇交通安全立哨指導																		
	〇防犯灯設置必要箇所の調査																		
	③防犯灯の設置																		
	〇笑顔のあいさつ運動																		
課題の柱 3. 防犯・防災対策の充実	〇子ども見守り隊、黒ハト隊の活動充実(巡回ルートの見直し)																		
	〇防災マップの作成(モデル地区:塩屋)																		
	〇初期消火活動体制の整備(モデル地区:名村団地)																		
	〇「ポイ捨て禁止」看板の設置																		
課題の柱 4. 環境美化への取り組み	〇施設管理者への対策要請																		
	〇「ゴミ拾い月間(週間)」の創設																		
	〇地域事業所への環境美化活動の要請																		
	〇学校・家庭へのマナー啓発																		

